



# THE Y'S MEN'S CLUB OF TSU

TSU Y'S MEN'S CLUB 231-12 KOUMEI TSU MIE 514-0006  
CHARTERED 1992 TEL 059-227-2392 FAX 059-227-2392



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT!"

## 2012年4月

### 主題

国際会長	「とにかくやろうー成せば成る」	会長	佐脇弘康
アジア地域会長	「とにかくやろうー成せば成る」	副会長	芝山隆史
西日本区理事	「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」	書記	薦田正男
中部部長	「楽しもう、学ぼう、働こう、そしてつなげよう」	会計	千賀直道
クラブ会長	「ワイズで学び、ワイズで奉仕」	直前会長	千賀直道

### 今月の聖句

「ほかの種は良い地におちたので、はえ育って百倍もの実を結んだ」

ルカによる福音書 8章8節

### 4月第1例会

日時 4月6日(金) 18時30分～

会場 アスト津 3F交流広場

開会点鐘 会長

ワイズソング斉唱

会長挨拶

今月の聖句

報告・連絡事項

夜桜観賞 津偕楽公園へ移動

宴会 薦田宅

雨天決行

会費 2000円

### 良い地

他人の忠告や良い話を聞いても、その人の心が良い地でなければ実には結ばない。良い地とは第一に素直な心、第二に忍耐のある心です。幼子のような素直な心で話を受け入れ、忍耐をもって努力していくとき、私達の心に蒔かれた言葉は何十倍もの実を結ぶことになります。



在籍	第1例会	第2例会	メイクアップ	出席率	ファンド
名	名	名	名	%	¥
5	5			100	

### 3月第一例会報告

日 時 2012年3月9日(金) 18時30分～  
会 場 アスト津 3F 交流広場  
出席者 佐脇 芝山 亀野 千賀 薦田  
会員研修会

ロースターをテキストにして

1. 会員・組織
2. YMCAとの関係について
3. 津クラブの取り組み
4. 次期に向けて結束を固める

ヴィジョンを掲げ前進しよう!!と誓い閉会

食事会の会場がどこも満員で花金?の影響か賑わっていた。最後は知り合いの店に割り込み料理の出方が遅いのをがまんしてようやく食事(飲み物)にありつきました。駅周辺が賑わい出したのに驚きました。

### 西日本区次期会長・主査研修会開催

日 時 3月10日(土)～11日(日)  
会 場 チサンホテル新大阪  
170余名が参加し熱心に研修を受けられました。



成瀬次期理事の方針発表 中部のメンバー

2日目に各部ごとに集まり次期荒川部長方針等を聞く

### 第2回 中部評議会開催

日 時 3月20日(祝) 13時30分～15時  
会 場 名古屋YMCA会議室  
中部各地より24名が参加  
第1号議案～第6号議案まで協議し承認された。

(議事録詳細は中部HPを参照してください。)



YYYフォーラム開催

日 時 3月20日(祝) 15時30分～  
会 場 名古屋YMCA会議室  
Yサ事業主任藤川ワイズを迎えて  
ユースのメンバーによる東日本災害支援報告を中心に  
熱心に取り組まれていました。



名古屋YMCAのユースメンバーは素晴らしい活動をしています。

### 津YMCAたより

3月21日(水) 終了証(各リーダーのコメントを入れ)を渡しました。卒園するメンバーが長い間お世話になりましたと挨拶をしたときリーダーの中には涙を見せた者がいました。感激したのでしょうか。

4月から小学生の活動がなくなります。野外は継続します。  
財団で展開していましたデイサービスの福祉事業が4月より福祉会の方へ移管されます。

4月からウオーキングのプログラムが始まります  
4月21日(土) 10時～ 四日市中央緑地公園  
ノルディックウオーキングの初歩より  
参加費 1000円(保険・ポール貸出)  
会員以外でも誘って参加して下さい。  
事前に申し込みをして下さい。

### 津・四日市クラブ合同例会

5月3日(祝) 10時～14時  
津市一身田 寺内町を散策  
ウオーキング・ハイキングと同時出発(約4Km)  
集合場所 県美術館駐車場(無料)  
詳細は別途案内します。

### 旅のたより

亀野 貞

2年前のバレンタインデーの朝に天に召された母の3回忌（母は賛美歌が好きだったのでが仏式でした。）があり、故郷の香川県善通寺市に1年ぶりに帰りました。善通寺市は弘法大師空海の生誕地として知られて、善通寺は四国八十八ヶ所七十五番札所です。市内には空海の生誕地の石碑がありますが、その地点から北へ1kmほどの地に小生が生まれた家があります。

この家は『明治八年（1875年）新営』と座敷の雨戸に記してありますので137年を経過していることとなります。当時、亀野家は庄屋を務めていて、その象徴的なものが時代劇に出てくるような長屋門です。戦災を経た都市部で育った人はびっくりするような代物です。ちなみに長屋門の内部は、門番の控室、馬小屋、駕籠の置き場等で構成されていますが、今はガラクタがほこりだらけになって積み上げられています。

この地では昔からの風習がある程度生きていて、村祭りの期間の夜、集落を練り回る獅子は我家の座敷に泊まり、仰向けになって寝ます。何年かに一度は村祭の当番が回ってきて、庭に小さな祭壇を組み建て、その前で獅子舞、巫女の舞を奉納します。

現在、兄がこの家を継いでいますが、維持・修繕等は大変な状況で困難を極めています。



100年以上前の建物とは思えないほどの立派なお屋敷ですね。昔からの風習は捨てがたいものがあります。大事に継承されることを期待します。

春の花



いざたて

- |         |          |
|---------|----------|
| 1. いざ立て | 心あつくし    |
| 手を挙げ    | 誓いあらたに   |
| われらの    | モットー守る   |
| ふさわし    | その名ワイズメン |
| 絶えせず    | めあて望み    |
| この身を    | 捧げ尽くさん   |
| 2. 歌えば  | 心ひとつに    |
| ともがき    | ひろがり行きて  |
| 遠きも     | 近きも皆     |
| 捧げて     | 立つやワイズメン |
| 栄えと     | 誉れ豊か     |
| まことは    | 胸にあふれん   |

四月という月が、皆様にとって希望に満ちた素晴らしい日々が続きますように祈っています。